

第 23 回豊済会職員研修会

平成 25 年 10 月 6 日の日曜日に池袋ホテルメトロポリタンにて第 23 回職員研修会を開催し、3 施設 96 名の職員が出席しました。

今回の研修会テーマは『高齢透析患者に対する医療と介護の連携』でした。

研修会の風景



1. 「開会挨拶」 豊済会 井上理事長

「高齢化社会と社会保障制度について」



2. 「医療と介護の連携」～透析クリニックでの課題～

座長：豊済会 三澤技士長

演者：

① 下落合クリニック 福島看護師

「介護サービスを受けている患者との関わり」

② ときわクリニック 寺田看護師

「ときわクリニックの現状・取り組み・課題」

③ 境南クリニック 野崎看護師

「安心安全な通院手段への取り組みと課題」

3. 教育講演

座長：下落合クリニック 菊地院長

演者：

東京福祉専門学校 ケアワーク学部 教務主任

白井孝子先生

「介護と看護の連携を図るために」
～介護福祉士養成教員の立場から～



講演の要旨：

- 介護保険の概要
高齡化社会を支えるシステム
- 介護と看護の連携を図るために
高齡化社会を支える人材
介護職員の資格と教育
- 連携に必要なこと
 - ▶ 利用者やその介護者の立場を考え、行動する力を各々が持つ
 - ▶ 各々の専門性を理解する
 - ▶ 連携の場を持ち、共通理解を深める
 - ▶ 反省点は次へのステップ

先生からのメッセージ

介護は歴史の新しい職種です。

変化する社会情勢の中、今全速力で行動しています。

連携がその行動の力になります。

質疑応答の風景



4. 日本透析医学会学術集会・発表者報告

座長：ときわクリニック 大塚院長

演者：

① 下落合クリニック 天野技士

「貧血に対する On-Line HDF の効果」

<発表中の天野技士>



② 下落合クリニック 今枝看護師

「体重管理困難症例へのデジタルカメラを使用した食事指導」

③ ときわクリニック 岸看護師

「透析患者の家庭内運動を支援する試み」

5. 編者まとめ

今回のテーマは、豊済会職員（医師・看護師・臨床工学技士・看護助手）すべての職種に関係する重要な話題でした。白井先生のすばらしい講演を受け、これまで不十分であった介護への知識および興味が高まりました。今後の「医療と介護の連携」に役立て、患者様へよりいっそう貢献できるよう、豊済会職員一同で努力していきます。